

<横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画（最近改定平成23年3月）より抜粋>

(2) 旧富岡倉庫地区（平成21年5月25日返還）

<p>接收年月日</p>	<p>昭和20年9月 2日</p>
<p>所在地</p>	<p>金沢区富岡東二丁目、鳥浜町</p>
<p>面積</p>	<p>土地： 28,988 m²（国 有） 野積場（24,156 m²） 物揚場（4,832 m²）</p>
<p>現地状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨海部の物揚場と内陸部の野積場に分かれており、平坦かつ整形な敷地形状をしています。 ・ 全域が国有地となっています。 ・ 物揚場、野積場の間には、首都高速湾岸線と金沢シーサイドラインが高架で、国道357号が平面で整備されており、それぞれの区域に隣接して市有地があります。 ・ 南側には、既返還地を整備した富岡総合公園があり、その最も高い場所と野積場との高低差は30～40m程度あります。
<p>跡地利用の テーマ (跡地利用指針 平成18年度より)</p>	<p>～海と丘をむすぶ産業創造空間～</p> <p>交通利便性が高い臨海部に位置しており、海辺の水際線の活用や近接する公園との連携により、海と丘をむすぶ魅力づくりを図るとともに、立地特性を活かして新たな産業振興・経済発展に寄与する空間の形成を目指します。</p> <p>① 産業振興に寄与する拠点 周辺の既存産業の活性化や新産業の創出を図るため、先端科学技術に関連する機能を導入することを目指します。</p> <p>② 地域の魅力向上 水際線の活用や、海と丘の緑をむすぶ軸の形成など、魅力的な空間を確保することを目指します。</p>

旧富岡倉庫地区の行動計画	
これまでの取組	<p>【成果】 返還の実現（平成 21 年 5 月） 衛生研究所再整備基本構想策定（平成 22 年 3 月）</p> <p>【課題】 低迷する経済情勢下での土地活用</p>
当面の目標	市有地と一体的に衛生研究所など跡地利用事業を進めます。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国有地活用方法など跡地利用基本計画を策定し、国との調整を進めます。 ・ 物揚場の港湾利用を推進します。なお、横浜市中央卸売市場再編・機能強化に係る南部市場の今後の動向を見据えながら検討を進めます。 ・ 野積場での導入機能やプロムナード整備等の土地処分条件を国と調整します。 ・ 地元の意見・要望等を踏まえながら、具体化検討を進めます。

